

本と出会うための本屋「文喫」
東京工芸大学芸術学部インタラクティブアート研究室と
「絵そらごと文庫」を2月28日より展示

株式会社リブロプラス（代表取締役社長：玉井 俊也）および日本出版販売株式会社（代表取締役社長：平林 彰、略称：日販）が運営する本屋「文喫」は、2020年2月28日（金）より東京工芸大学芸術学部インタラクティブアート研究室と「本との対話」を生むインタラクティブ作品「絵そらごと文庫」の展示を行います。

「文喫」は、本と出会うための本屋として、2018年12月11日、六本木にオープンしました。入場料1,500円（税別・平日）をお支払いいただき、3万冊の蔵書から、意中の1冊と出会うための時間を提供しております。

「絵そらごと文庫」は、プロジェクションマッピングの手法とセンサーを用い、「本との対話」に新たな感覚が生まれることを目指したインタラクティブ作品です。ページをめくり物語を読み進めるように、本に手を差し伸べるたびに世界が変化し動き出します。

今回の展示にあたり、東京工芸大学芸術学部インタラクティブアート研究室と「文喫」のブックディレクターとで話し合いを重ね、作品コンセプトを練り上げました。「本によって文脈を編む」という「文喫」の棚づくりのコンセプトを応用し、「3冊の本の組み合わせによって生まれる新しいイメージを可視化する」というテーマで、4名の学生がそれぞれ作品を制作しました。

■「絵そらごと文庫」展示概要

・開催期間

2020年2月28日（金）～3月11日（水）

（混雑により入場制限がかかった場合、ご覧いただくのにお待ちいただくことがございます）

・展示場所

「文喫」店内4か所（ただし、1作品のみ1階無料エリアにて展示）

「文喫」への入場には入場料がかかります。

平日 1,500円 土・日・祝日 1,800円（いずれも税別）

・プロジェクトメンバー

東京工芸大学 芸術学部 インタラクティブアート研究室

佐々木陽菜 日高葵 吉田凜之介 美田翼

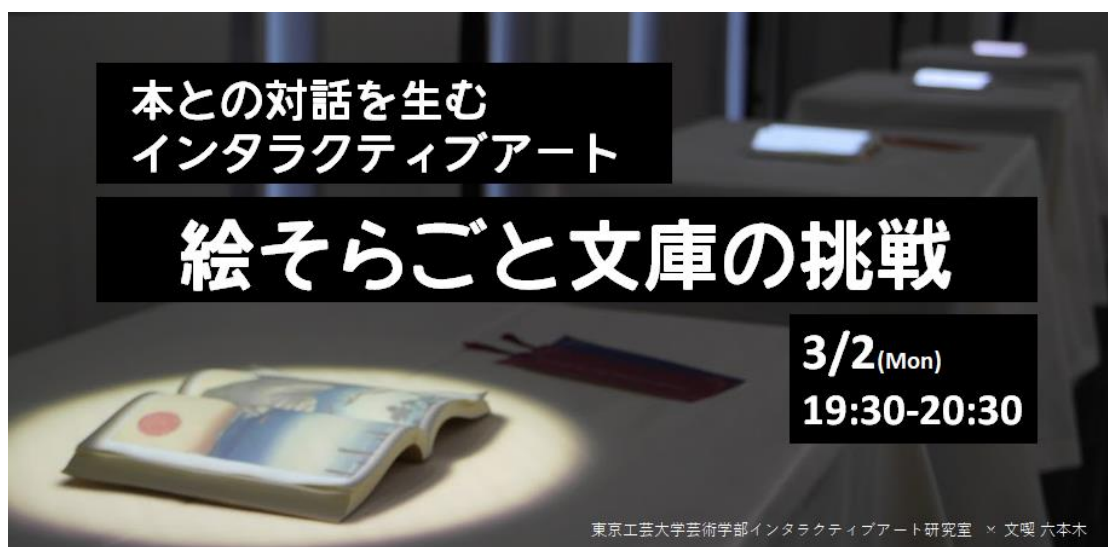
浅野耕平（東京工芸大学 芸術学部 准教授）

・研究室紹介

東京工芸大学 芸術学部 インタラクティブアート研究室

コンピュータを中心とした狭義のメディアアート、インタラクティブアートの制作の他、ワークショップやアナログ的手法なども含めた広義の意味のインタラクションを様々な角度から研究し、様々なコミュニケーションを創出する作品の制作を行っている。

■3月2日（月）にトークイベント「本との対話を生むインタラクティブアート 絵そらごと文庫の挑戦」を開催



3月2日（月）には、「文喫」のブックディレクター・有地和毅が「絵そらごと文庫」を制作した東京工芸大学芸術学部インタラクティブアート研究室とともに、新しい「本との対話」について考えるトークイベント「本との対話を生むインタラクティブアート 絵そらごとと文庫の挑戦」を開催します。



イベントにはスペシャルゲストとして「絵そらごと文庫」のキーブックの1冊に選ばれている『空色のクリームソーダ Recipe』（ワニブックス）の著者であるクリームソーダ職人・tsunekawaさんをお招きし、展示作品のコンセプトからインスピレーションを膨らませたクリームソーダを提供します。

・イベント概要

【日時】3月2日（月）19：30～20：30（19：00 開場）

【会場】文喫 六本木

【定員】30名

【料金】2,200円（入場料・イベント参加費込／税別）

※19時以前より「文喫」を利用される場合は、500円の追加料金をお支払いいただきます。

イベントの参加申し込みはこちらから

<https://esoragotobunkitsu.peatix.com/>

■スピーカープロフィール

・ 東京工芸大学 芸術学部 インタラクティブアート研究室

・ tsunekawa / 恒川 寛也 (つねかわ ひろや)

1991年、愛知生まれ。東京で活動中。名古屋モード学園卒業。在学中、Tokyo 新人デザイナーファッション大賞をはじめ、国内複数のコンテストに入選。現在は服飾ブランドを運営。

独学でクリームソーダ作りを開始。”旅する喫茶” と称し全国を巡回し地元食材を使った活動も行う。

2019年に日本初となるクリームソーダのレシピ本『空色のクリームソーダ Recipe』(ワニブックス)を出版。

SNSの総フォロワー数は現在約10万人。

Twitter @tsunekawa_

Instagram @tsunekawa_

・ 有地和毅 (あるち かずき)

日本出版販売株式会社 YOURS BOOK STORE ブックディレクター

2010年、日販グループの株式会社あゆみ Books (現・株式会社リブプラス)に入社。あゆみ BOOKS 小石川店にて小説家との書簡を店頭で公開する「#公開書簡フェア」、SNSユーザー参加型の棚「#音の本を読もう」を企画。2016年、日本出版販売株式会社に出向。書店店頭を活用した本によるブランディング企画担当を経て、2018年より現職。ブックディレクターとして選書ディレクション、コンセプトメイキングに携わる。

■関連イベント「旅する喫茶 in 文喫」

3月2日(月)・3月3日(火)の2日間限定で、「旅する喫茶」が文喫の喫茶室をジャックします。全国を旅しながら喫茶店を営む、クリームソーダ職人・tsunekawaさんとカレー職人・たまきさんが腕によりをかけた、美しくおいしい特別メニューを召し上がれ。

・ イベント概要

【日時】3月2日(月) 12:00~20:00

3月3日(火) 12:00~17:00

【メニュー】・文喫オリジナルクリームソーダ

・桜舞い散るクリームソーダ

・夕日が沈む空色のクリームソーダ

・懐かしのクリームソーダ

【料金】3,500円(入場料込/税別)

※3月2日(月)の19:00以降は3,000円

※事前のお申し込みが必要です。こちらからチケットをご購入ください。

定員に達し次第、受付を終了します。

<https://tabisurukissa.peatix.com/>

「文喫」公式サイト：<https://bunkitsu.jp/>

【新型コロナウイルス対策について】

- ・厚生労働省の2020年2月20日の通達に基づき、感染機会を減らすため、ご参加のお客様にも、手洗いうがいの徹底やマスクの着用など、ご協力をお願い致します。
- ・今後イベント中止の判断となりましたら、すでにお申し込みいただいているお客様には返金させていただきます。
- ・お客様都合によるキャンセルは、前日までにご連絡いただいた場合のみ、返金の対応をいたします。風邪のような症状のある方は、お早めにPeatixチケットページの「主催者へ連絡」よりご連絡ください（一部手数料のみご負担いただく場合がございますので、ご了承ください）。

Peatix チケットページ <https://esoragotobunkitsu.peatix.com/>

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社 リブプラス 商品部 野見山 祐規子（のみやま・ゆきこ）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-23-15 第2 キンズメンビル

T. 03-5957-3406 / F. 03-5949-4884 <https://libroplus.co.jp/>